

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成26年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

●調査時期
平成26年5月9日～平成26年5月23日

●発送数 80 件(校)

●回答数 62 件

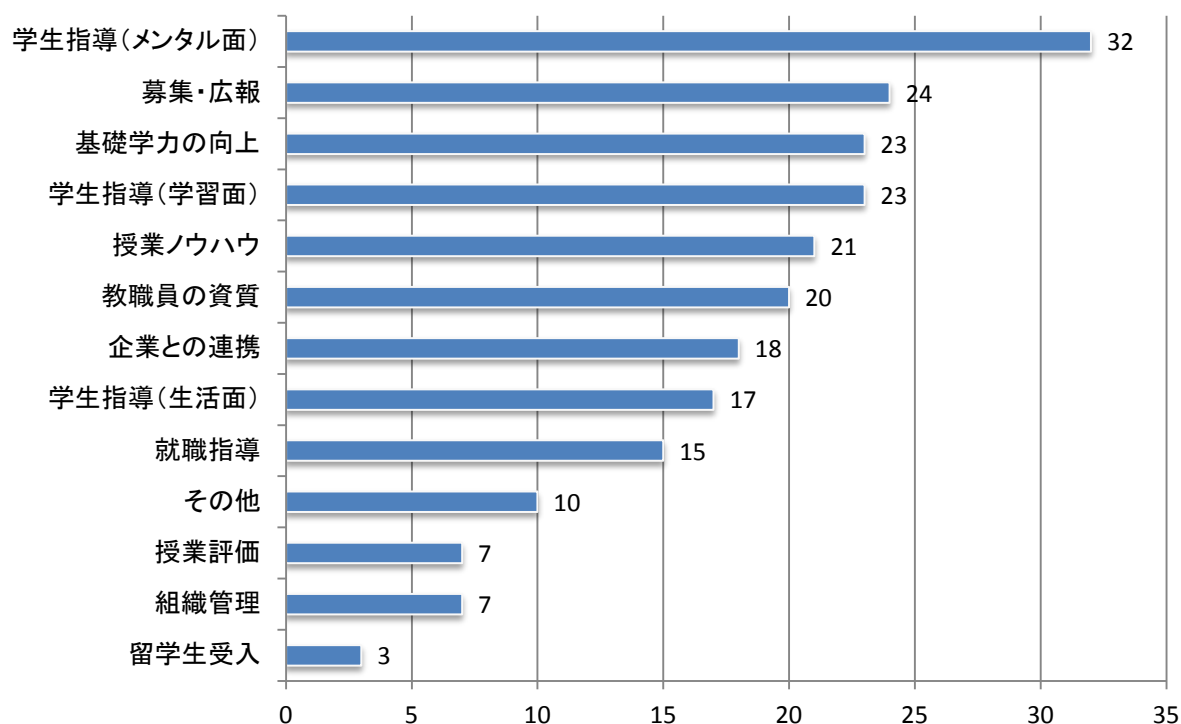
●協力校数 25 校

●回答率 31.25 %

問1. 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	教職員の資質	20	33.3%
2	授業ノウハウ	21	35.0%
3	基礎学力の向上	23	38.3%
4	授業評価	7	11.7%
5	学生指導(メンタル面)	32	53.3%
6	学生指導(学習面)	23	38.3%
7	学生指導(生活面)	17	28.3%
8	就職指導	15	25.0%
9	企業との連携	18	30.0%
10	募集・広報	24	40.0%
11	留学生受入	3	5.0%
12	組織管理	7	11.7%
13	その他	10	16.7%
	合計	220	-

※%の母数は回答者数(=60)、複数回答



問1-13. その他

- ・校納金未納者の対応
- ・学校会計簿記基本金について
- ・学校法人会計について
- ・事務処理の効率向上
- ・事務処理の効率化
- ・講師、キャリアコンサルタントの確保
- ・卒業後のキャリアデベロップメント
- ・シェダー技術
- ・ビジネスマナー(医療スタッフ用)(ロールプレイ含む)、クレーム対応(ロールプレイ含む)

問2. 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■学生指導：メンタルヘルスケア（カウンセリング）、発達障害に対するケアなど						
1	学生へのカウンセリング	高校の先生から近年の生徒の資質や指導方法の教授カウンセラーからのアドバイス、「うつ」やパニック障害への対応方法	実践できるレベル	教員	1日	3月 (入学者への準備)
2	学生へのメンタル指導	心理状態(学生)、その対応	対処法	講師(担任を持っている)	4、5月	-
3	発達障害者への指導	発達障害者へのケア。指導方法。	学習力の向上	教員	1日	夏
4	学生指導の為のカウンセリング方法	・学生心理学の講義 ・カウンセリングのロールプレイング ・上記後のディスカッション及びフィードバック	さまざまな学生のタイプや悩みの内容ごとのカウンセリング方法	-	1日～2日	夏期休暇
5	メンタルヘルス	医療、専門家との相談・面談のできる現場(空間)	即！解決できなくとも少しでも前進すること	本人もしくは関係者	1コマでも可	相互が都合のつく時間
6	発達障害などのある学生への接し方、対応について	専門家による講義	発達障害等についての認識を確かなものとし、学生に的確なケアができるようになる。	教職員	1日	7月
7	発達障害の学生への指導方法	・講義(発達障害とは、接し方等) ・ケーススタディー(よい取り組み事例があれば)	-	教員	1.5日	-
8	学生指導上のメンタルヘルスに関する知識習得	専門家による指導方法・学生指導上の注意等について事例を交えて学ぶ(対発達障害者等)	学生・保護者とのスムーズな対応	教員、生活指導員	1日	希望なし
9	学生の心を開く	学生が抱えている悩みの早期確認およびその解決策の提案についてノウハウを学ぶ	-	-	-	-
10	学生相談・メンタルヘルス	悩みを抱える学生への初期対応を学ぶ	窓口業務での実践	窓口業務担当	1日～2日	1日～2日
11	学生のメンタルケアと学生の質の追及バランス	精神科の医師やプロのカウンセラーと教員とのパネルディスカッション。ケーススタディ等。	参加者が精神障害や発達障害を知り傾向とある程度の対策を知る。	教員	1日	-
12	メンタルヘルスの管理法	事例紹介、セミナー形式	基礎知識の修得	教員	1日	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
13	社会人をめざして	メンタルヘルス面からの学生指導	—	教員	2日	年度末または年度初め
14	メンタルヘルス	具体例により、できるだけ方向性を見いだせるようなディスカッション形式	—	教員	1日	8月
15	発達障害を持つ学生指導法	発達障害を持つ学生に関する知識と指導法の研修	—	教員	1日	8月
16	カウンセリング技法	セミナー形式、ディスカッション	カウンセリング能力の向上	教員	1日	—

■学生指導：学習面、基礎学力向上など

17	学生のやる気向上講座	モデル校の成功事例・方法の紹介	—	中間管理職 教員	2日	長期休暇期間
18	学生指導向上のための研修	効果が上がった学校などの事例発表及び教員間の意見交換(情報交換)	—	管理職以外の教員	1日～3日	—
19	学生指導	学力差のある学生の指導法	—	教員	1日 または 2日	夏休み
20	基礎学力向上の取り組み	新入生の中で基礎学力が低い学生が増えている。 専門知識を身に付けさせつつ、学習が遅れ気味の学生に対して、基礎学力を向上させる為に工夫した取り組みについての実践報告。	—	希望者	1日	5月(早め)
21	学習習慣を身につけさせるには	講義とグループディスカッション 他校の事例発表	—	教員	1日	2月
22	リメディアル教育について	先進的に取り組んでいる事例を知る。 実際実施している学校を見学する。	—	教員	1日	8月
23	初等教育から学ぶこと	形式：セミナー形式 講師：ベネッセコーポレーション	特になし	不問	1日	夏
24	学生の基礎学力向上成功事例紹介	全国で、学生の基礎学力向上に成功し、成果を挙げている学校の担当教員を招き、レクチャーをして頂く。	—	学生指導教員	1日	—
25	基礎学力向上	対象者(低い学力)を限定した入学前、入学直後の対策、事例を学ぶ	多くの事例を収集し活用できるレベル		1日	8月、2月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■学生指導：コミュニケーション能力向上など						
25	ソーシャルスキル、コミュニケーション能力を育てる	講義とグループワーク	高校生でも専門学校生でも実施できるもの	教員	1日～2日	夏期休暇
26	コミュニケーション能力について	学生のコミュニケーション能力向上研修、またそれを指導する講師の養成研修	-	学生教員	2日	-
■教員の教育力向上：技術習得、技術情報交換、組織的な資質向上など						
27	3Dプリンター	3Dプリンターを使用したモノづくりを授業内で教える上での参考になるような内容のもの。課題作成例や指導法の事例など。	入門レベル	教員	1日	8月
28	実例で学ぶシステム構築のポイント	実例を題材としたWebシステム、RFP、設計書、実装などを取り上げポイントを紹介	授業導入までできると良い	Webシステム実習担当	1日～2日	7,8月
29	シェダー技術	シェダーの基礎から応用まで	-	-	-	-
30	医療現場における接遇	ビジネスマナー、クレーム対応などを軸とし、ロールプレイを含んだ研修があれば嬉しいです。	目標は、シチュエーションから実技テスト形式(ロールプレイ)で各グループで発表を行い、対応が誤ってなければOK	医療事務、看護師などのメディカルスタッフに関わる専門大学などの教員	-	特に希望はありません。あれば参加したいです。
31	AR(拡張現実)アプリ作成	実習形式で開発環境や作成方法を学びたい	入門から応用	-	2日	8月、9月、2月
32	Android 基礎編、実用編(活用)、応用編	Android上でのソフト(システム)開発技術の訓練及び指導上の留意点や作成技術のモデル(標準スタイル)(入門書は市販されているが業務として開発できるレベルかどうか分からない) ・日本電子さんとか取り組まれている研究やセミナーを広く公開して全国から参加できるよう、事務局から案内頂ければと思います。 ・プログラミングや設計の手法、スタイルが変化してきてはいないか注目されるテクニックなど。 ・クラウドのための環境作りや知識(セキュリティとプログラム、システム設計)	-	システム系教員	2日	8月、9月
33	CCNP	講義 + 演習	CCNP合格	ネットワーク教科担当	5日	-
34	プロジェクトマッピング作成	実習形式で開発環境や作成方法を学びたい	入門から応用	-	2日	8月、9月、2月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
35	ゲーム開発エンジン(Unity)	ツール利用講習会	初めてツールを使用するレベル(プロフラム知識あり)	教員	2日	なし
36	Webサイト情報設計基礎	Webサイト構築のための情報設計の進め方を身近なテーマを通して体験することで、情報設計の重要性と基本的な考え方を身につける。	Webサイト構築における情報設計とは何かを理解できる ・Webサイト構築における情報設計と情報デザインの重要性が理解できる ・Webサイト構築における情報設計の手順が理解できる	教員	1日 または 2日	夏休み 冬休み 春休み
37	Webサイト品質管理基礎	一般的なサイト品質の定義とその実装方法、またサイトを管理運用していく際に注意すべきポイントを理解し、高品質のWebサイトを維持管理するための手法を学ぶ。	・Webサイト品質管理の重要性が理解できる ・Webサイト品質を定義する要素について理解できる ・Webサイト品質の維持管理手法について理解できる	教員	1日 または 2日	夏休み 冬休み 春休み
38	IT分野担当教員の情報交換会	フリーディスカッション	-	教員	0.5日	年度末
39	クレーム保護者対応	学校の生活指導に対して、ご自身の意見のみを通す保護者への対策について一般的な解決方法をさぐる。	教員としての対応力	教務	1日	通年
40	教育の資質向上	専門学校の教育の資質向上に向けた取り組み * 他校の取り組み事例	-	管理職	1日	-
41	専門学校での教員の資質で必要なもの、こと	専門学校では(特に常勤職員は)専門分野のスキル以外の資質が多く必要とされる気がします。統一した答えはないかもしれませんが、ディスカッションをしたいと思います。	グループディスカッションでスキルマップを作る。	教員	2日～3日	夏期休暇
42	自分の心のトレーニング	平常心を培う方法、常に平常心を保つ方法	怒りを抑えられる精神	短気な人	コントロールできるまで	自由
43	DCAポリシーとカリキュラムの体系化	教育活動をより具体的に関係者に伝え、より高い教育成果を上げるために必要なことを学ぶ	成果物とそのPDCAサイクル完成	教職員	1日	1日
■授業の作り方、教授法など						
44	効果を出せる授業開発	-	-	教員	1日	2日

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
45	効果的な教案作成	教案作成の仕方。その教案をより効果的に 見せる教材(OHP、パワーポイント、・・・etc) の使い方(使うにあたっての長短所)	1コマの作成。単純に 作るだけではなく、次 につながる作成。	教務	1日	通年
46	授業の実演を取り 入れたセミナー	-	模擬授業が行える	教諭新人	-	-
47	学生参加型授業の 構築	セミナー形式、事例紹介等	技法の修得	教員	1日	-
48	授業法	授業法の基本(新任対象)と応用(新任以外 対象)	-	教員	3日	8月
49	受講者対応	様々な受講者がいるが、言葉や表面だけ にとられるのではなく、円滑に対応していく ためのノウハウ	-	講師、職員	-	-
50	五感を使った教授 法	講義を受けた時は理解できても、しばらく すると忘れてしまう。暗記や記憶だけに 頼らず行動(体)で覚える教授法。	アイデア、創意工夫ある 教材開発作りができる	教員	2日	8月
51	学習指導(学習面)	教授法やグループワーク指導法などを身 につけるための知識習得型セミナー	中堅教員	-	1日～2 日	8月
52	保育士、幼稚園教 諭としてのピアノの 役割とは	保育現場に立ったときの具体的な教育指導 方法	職務につき、即実践で きる通用することを目 標にしたい	教員	1日また は 2日	夏休み
53	授業評価に関する セミナー	授業評価に関して海外の事例を学び研究 する	多くの事例を収集し活 用できるレベル	-	1日	8月、2月
54	授業法ノウハウ	自発的な学習の推進方法、ゲーミフィケ ーションを取り入れた学習指導方法など。	-	-	-	-

■企業連携

55	企業連携によるFD およびSD	職業実践専門課程におけるFDおよびSDの 在り方を考える。 専門研究者による事例紹介	学内において定期的 に企業連携による FD、SDを実施する。	校長、学科 長	半日	-
56	企業との連携	現状、企業連携は企業の人々の講話を受け (職業人講話)、インターンシップの他は学生 を一般セミナーに参加させるといった内容に とどまっており、今後文部科学省の方針で 企業連携が推進される中、体系的な手法、進 め方、留意点など学校としてノウハウを持っ ておくべきと考えます。	-	-	-	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
57	企業との連携	企業連携をどのようにカリキュラムに導入していくか企業と学校の双方にメリットがあるようにするには。	-	教員	1日	9月
58	企業連携教育	実戦的な教育と企業の協力を得て実施する場合の問題点や考慮する点について実例を含んだ説明会	協定内容や契約書類のフォームおよび学生への指導ポイントを学ぶ	教員	半日	前期
59	企業との産学連携事例紹介	全国で企業との産学連携を実施している学校の担当者を招き、成功事例を紹介して頂く。	-	教育部担当	1日	-
60	求人ニーズの高い技術のカリキュラム構築	企業の技術者から、学校に求めるカリキュラムの例や、具体的な教育プログラムの研修	新年度のカリキュラムに取り入れられるレベル	教員	1日	8月
61	実習実施法	学生が校外に実習に行く際、学校と企業との連携方法の他校事例(実習時間について、賃金について、企業に求める指導内容について等)	-	教員	1日	8月

■キャリア教育、就職指導など

62	キャリアガイダンス、キャリアコンサルティング	講義及び実践演習	入門から	担当者	2日	夏期休暇
63	就職指導・キャリア教育の修学年別の指導法等。クラスマネジメント法等。	キャリアサポート実施の中で、専門学校生としての修学年に合わせた指導法など。学年別でのクラスマネジメント・就職支援能力開発。事例発表形式。	就職意識・学年別に合わせた指導法やクラスマネジメント力を身につける。	教員	1日程度	-
64	就職指導	早期就職に向けた意識づけ、行動が起こせるようにするための指導方法	-	講師、職員	-	-
65	クリエイター業界人になる	専門の業界、企業でのイベント、式典、説明会などの参加	インドアでは不可能である”実践塾”を経験	興味のある者。将来を目指す者。	1コマでも、1日でも可	相対的に無理のない時期
66	卒業後のキャリアデベロップメント	卒業後のキャリアデベロップメントに関する事例紹介	-	校長、学科長	半日	-

■学校運営全般：組織、会計、施設、安全管理など

67	校納金未納者への対策	教務、経理をはじめとし当該学生・生徒に限らず、保護者への対応をいかに取るのが適切なのかをアドバイスしていただけるとありがたい。	納入を積極的に考えてもらえるようになりたい。	経理、教務	1日	春～夏頃
68	学校法人会計	下記に関する講習会(演習含む) ・固定資産と基本金処理 ・予算編成と予算管理 ・決算準備と計算書類作成	学校法人会計全般のしくみが理解できる(初級～中級レベル)	経理担当者	3日	9月、10月、11月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
69	個人の資質を伸ばしながら、理念を共有し働ける組織の作り方	講義、理想論ではなく現場に密着した内容を望みます。	中間管理職が参考になるような	中間管理職	2日	夏期休暇
70	リスクマネジメント研修	専門学校での防災対策	マニュアル作成	管理者	2日	8月
71	安全管理	機器や工具を使用した授業の安全な実施方法、応急手当の方法など。	-	教員	1日	8月
72	-	適切な組織管理運営や現状の診断、コンサルタント	-	-	-	-
73	学校会計	予算、決算、収支等の基本的な考え方	予算管理業務での実践	経理担当	1日～2日	1日～2日
74	地域に愛され必要とされる専門学校の作り方	単純な広報戦略ではなく、いかに地域と密着し地元で愛され息長く専門学校を継続できるかを話し合う事例紹介等も良いかもしれない。	ケーススタディ 成功事例紹介50%、 ディスカッション50%	関係者全員	2日～3日	休み中
75	施設管理	学校として必要な施設管理の形	施設管理業務への反映	施設管理担当者	1日～2日	1日～2日
76	救急法	学生への緊急対応法を学ぶ	日々の危機管理に反映	教職員	1日	1日

■学生募集・広報など

77	伝える技術	授業や募集活動時に理解を得るための効果的な伝え方。およびツールの活用。	-	教員 広報	1日	12月
78	今どきの中学生・高校生のライフスタイル(学生募集)	10代の生活パターンや嗜好、性質を理解する。 30代以上との決定的な違いを分析する。	若い世代を理解し同目線にとらえることができる技能を習得	募集業務職員・教員	半日	特に希望なし
79	-	効率的な広報戦略や成功したケースなど、現状の診断、コンサルタント	-	-	-	-
80	学生募集活動成功事例紹介	全国で学生募集に成功している学校の担当者を引き、事例を紹介して頂く	-	各校広報担当者	1日	-

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
81	学生募集	マーケット調査 ・専門学校入学希望者のニーズ ・既卒者の動向 ・学費不足者への対応(入学前) * 情報収集セミナー	-	広報	1日	-
82	SNSを活用した学生募集・広報	・具体的な取組み事例 ・関連業者プレゼン	-	広報担当者	半日から1日	6月
83	学生募集・広報新人研修	・学生募集、広報担当者として1年～3年目程度を対象とした研修 ・全体的な環境～具体的な広報手段	広報担当者	2日程度	6月	-
84	広報部管理職向け研修会	地方・中央とも動向把握から、現市場動向、SNS等メディアミックスの今後の動きなど、全般的にこれからの広報活動研修。情報収集型セミナー	自校に合わせた新しい活動法を見つける。SNSの最終形態を把握できフィードバックできる。	広報部員、広報管理職	1日程度	-

■業務推進能力向上、効率化など

85	ファイリング研修	基本的なファイル方法 効率的なファイル方法 わかりやすいファイル方法	職場で実践できるファイリングデザイナー検定	事務職	1日	1日
86	データ処理、ファイリングスキルアップ	無駄のない事務処理方法を学ぶ。また省スペースでの文書類保管方法を学ぶ。	データ形式、文書(紙)形式、両方の処理能力を向上	募集業務職員・教員	半日～1日	特に希望なし
87	ビジネス文書(学校版)	ビジネスメールの書き方 ビジネス文書の書き方 やってはいけない文書	職場で実践できる	事務職	1日	1日
88	電話・来客対応	電話・来客時の基本的な対応 不在時の対応(アポあり・なし) クレーム対応	職場で実践できる	事務職	1日	1日
89	ACCESS活用	データベースソフトウェアの業務での活用	時間割作成、預り金業務への活用	事務職	1日～2日	1日～2日

■その他

90	子ども子育て会議の方向性	これからの保育行政について 講師:文科省、厚労省、指導課長クラス	-	教員	1日	夏休み
91	職業実践専門課程認定学科担当の研修会等	学科長の学科管理を対象とした職業実践専門課程運営に関わる勉強会。 企業ニーズの開拓方法や学科別分野別のグループディスカッション等にて企業ニーズ等の洗い出しや今後の職業教育に向けた意見交換等。	効率的かつ、より職業実践カリキュラム設定ができる。分野に求められている人材ニーズを企業から効率的に授業組み立てに反映できる。	教務管理職、学科長	1日半程度	-

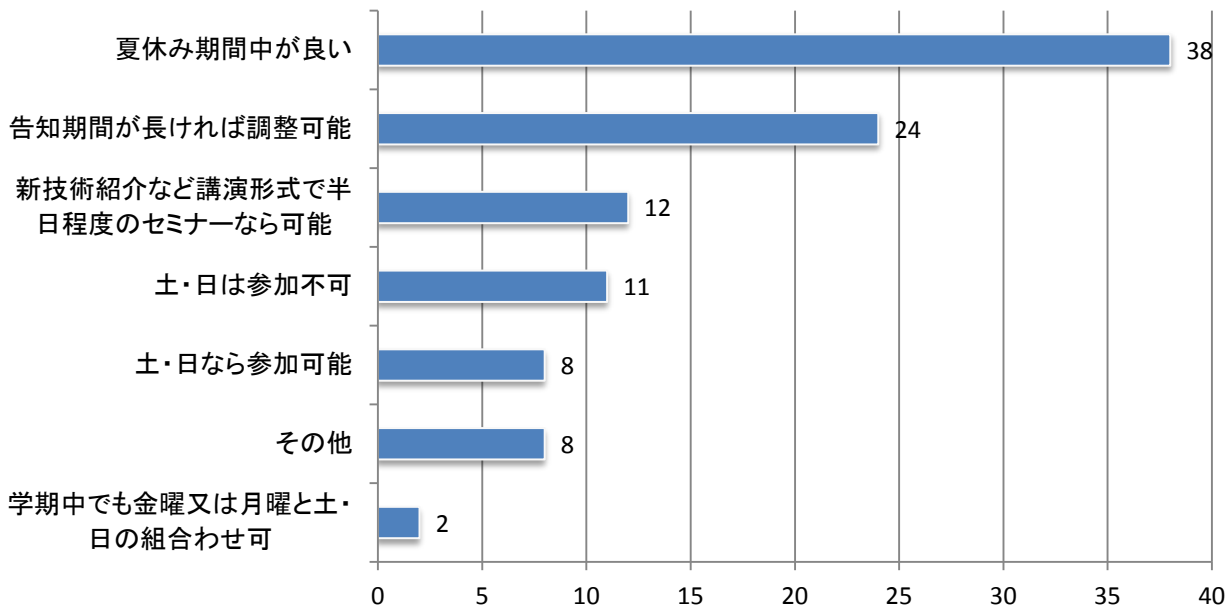
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
92	農漁林業三次産業体験	地方の農業、漁業、林業にふれる現地体験を教育に活かすには	—	教員	1週間	夏休み
93	グループディスカッション/ディベート	学校および社会人向け講座から事例を学ぶ	多くの事例を収集し活用できるレベル	—	1日	8月、2月

問3. パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

■研修次期について:

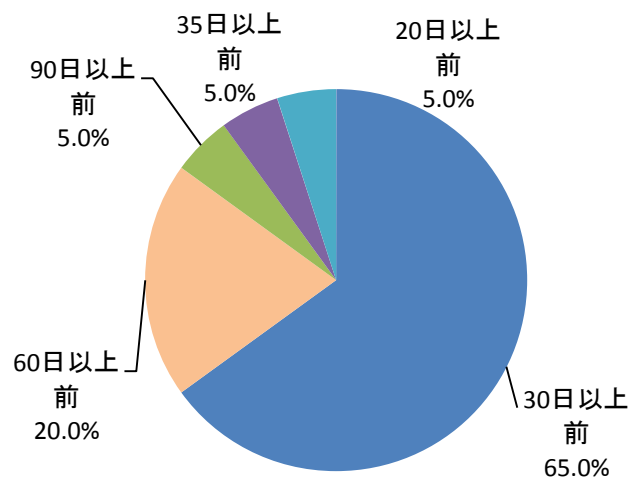
S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	38	63.3%
2	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	2	3.3%
3	土・日なら参加可能	8	13.3%
4	土・日は参加不可	11	18.3%
5	告知期間が長ければ調整可能	24	40.0%
6	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	12	20.0%
7	その他	8	13.3%
合計		103	-

※%の母数は回答者数(=60)、複数回答



◆”告知期間が長ければ調整可能”な場合、最低何日前の告知が必要？

S.No	項目	回答	%
1	30日以上前	13	65.0%
2	60日以上前	4	20.0%
3	90日以上前	1	5.0%
4	35日以上前	1	5.0%
5	20日以上前	1	5.0%
合計		20	100.0%

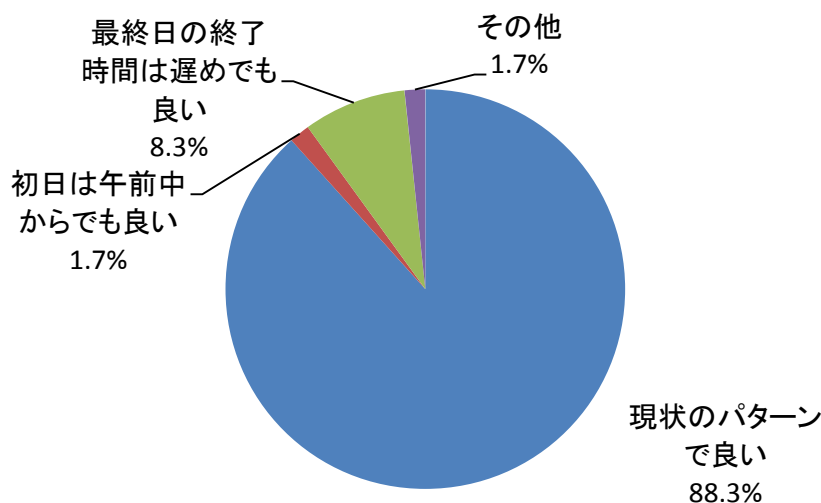


◆その他

- ・比較的長期の休み中が参加しやすいと思う。ただ休み中もイベントが多いので必ずとは言えない。学期中でも気合を入れれば参加可能。本当に受けたい必要なものならばなおさらだと思います。遠方はどうしても数日かかるので。
- ・9月～11月(事務系研修であれば)
- ・2日以内だと参加しやすい。
- ・学業・仕事などバッティングのない時期(日時)
- ・夏休みはイベントがあるため、早めの告知が必要
- ・新技術の紹介等は2種類以上組み合わせ可能なスタイルも良い。
- ・平日夜間(19時～22時の時間帯)
- ・春休み期間 2月
- ・冬休み期間 12月中旬

■日程について:

S.No	項目	回答	%
1	現状のパターンで良い(初日:午後スタート、最終日:15時頃終了)	53	88.3%
2	初日は午前中からでも良い	1	1.7%
3	最終日の終了時間は遅めでも良い	5	8.3%
4	その他	1	1.7%
合計		60	100.0%



◆”初日は午前中からでも良い”場合、東京駅ベースで何時頃のスタートなら可？

- ・11時頃

◆”最終日の終了時間は遅めでも良い”場合、東京駅ベースで何時くらいまで可？

- ・18時頃:3件回答
- ・17頃:2件回答

問4. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1		他の学校のオープンキャンパスや授業の見学	時期・期間は問わない。	
2	新潟県	新潟会計ビジネス専門学校を見学し、学生募集や学生指導などを学びたい	12月ごろ	1日～2日
3		新しいタイプの製造業	8月頃	1日くらい
4	東京、大阪、京都	展示会など	-	-
5		アメリカの美術デザインの学校を見学し、カリキュラムの構造や教え方などを学びたい。	7月、8月頃	5日くらい
6		京阪神の学校動向の情報収集と意見交換など	-	-
7	東京”自由廊”	立体、平面、キャラクター、造形物設定物(資料)等の制作展示	都合のつく時期、必要限度にて	
8	広島県	高等専修学校が多いとされているので学校見学	8月頃	1日くらい
9	東京都の専門学校	学生募集に関する意見交換、情報収集	9月	1日
10		静岡県内の他の医療事務を扱う専門、大学へ行き授業内容の見学と意見交換	-	-
11	Google	社員のモチベーションを保つ秘訣	8月頃	1日
12	東京都	コンピュータ系の専門学校	10月	1日
13	福島県 会津大学	ベンチャー体験工房の見学	受け入れ可能な時期であればいつでも	2日くらいで
14	アメリカ・ロサンゼルス	ゲームショー(E3)	6月頃	5日くらい
15	アメリカ・ロサンゼルス	ゲームショー(E3)	6月頃	5日くらい
16	金沢工業大学	リメディアル教育の現状	9月	1日

問5. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・東京開催では、なかなか参加できないのが現状です。
- ・新技術の研修をはじめ、企画していただいたテーマによっては教員を参加させたいと思います。
- ・基礎学力の低い学生指導と支援体制。
- ・精神的問題を抱える学生への教育方法と支援体制。
- ・ベテラン(10年以上勤務)教員の授業品質の改善方法と学生指導方法。
- ・高等学校の進路指導の在り方が現在どのような形になっているのか。
- ・過去、専修学校と高等学校とのパイプは存在していましたが、現在は各学校単位になり、なかなか全体の情報が少なくなっている。ぜひとも高等学校(片よりなく)の進路指導の現状を聞きたい。
- ・学生募集に関して、データの作り方や見方、結論の導き方
- ・(主に学生募集)プレゼンの方法
- ・役職者の仕事のやり方、考え方
- ・学生の心の問題(コミュニケーション能力、生活指導、etc)
- ・学生の理解度低い向けの分かりやすい文書作りを心掛けているが難しい。
- ・現在勉強中
- ・教員のスキルとバランス力の高め方
- ・基礎学力に差のある学生たちの評価方法
- ・イラスト系学科の学生の就職意識の高め方
- ・管理職のハウツー
- ・地域に愛され必要とされる専門学校像
- ・発達障害者へのケア。進級、卒業、就職への向上。
- ・学生募集に関わる課題で自校独自性の確立をめざすためのノウハウ。
- ・高等部(課程)の生徒指導などの全国的事例を知る必要を感じています。
- ・心の問題を抱えた学生を含み、学生の質の差が年々大きくなっています。
そういう状況の中で授業の組み立て方が難しくなり、個々の対応が求められています。
同様に授業の質、評価の在り方への対応が困難となっています。
- ・PCやITスキル、知識の顕著な差による業務遂行のバラつきを緩和させる方法
- ・専門課程と高等課程のそれぞれの事務と高等課程卒業後専門課程2年次に編入が可能となっているため業務内容が複雑化している。
- ・業界生活36年…色々な資料、記念品、レプリカetc、約1000個(以上)の展示スペース、費用、時間などそして場所(敷地) ※ここ数年の悩みです。
- ・発達障害の学生及びグレーゾーンの学生に対する指導方法、授業展開
- ・メンタル面のフォローについて
- ・多様な学生、保護者に対応するためのスキルが個人の教員の資質によって差が出てしまう。
当たり前かもしれないが、もっとスムーズにできないか(雑務が多いので時間が限られている)
- ・リスクマネジメントシステム構築について
- ・心の問題を抱える学生へのケアについて
- ・発達障害の学生への対応方法(心構え、指導方法等)
- ・発達障害の学生への指導方法等
- ・授業の前提に達していない学生はどうすればよいでしょう。
- ・レベル差のあるクラスを相手にいかにして授業すべきか。
- ・心が弱い生徒を医療事務としてどう育てていくか。
- ・反応の返ってくる授業にするにはどうしたらよいか。
- ・生徒との距離感はどう作ったらよいか。
- ・学生間にレベル差がある時の指導方法などが困っています。
- ・学生ともっと仲良くなりたい。

- ・つかみがほしい。
- ・遅刻、欠課の改善しない学生への指導。
うまくフォローできないとさらに学習についていけなくなりモチベーションが下がるという悪循環に陥る。
当該学生とコミュニケーションをとる時間もなかなか取れないという問題もあります。
- ・学生のレベル差が激しい。
- ・低レベルの学生を中ぐらいには押し上げたい。
- ・技術に興味のない学生に興味を持ってもらう方法
- ・教員の資質(授業や専門分野以外の業務においてスケジュール、進捗管理、問題解決など基本的なこと)の向上策で、
どう育成するか困っています。
- ・宿題などに取り組まない学生へのフォロー。「はい」と返事して“やらない”、“結果がない”
- ・学生がひきこもり等に陥り退学してしまう。何とかしたい。
- ・基礎学力の低い学生への教え方
- ・教員のコミュニケーション能力の向上
- ・授業評価(改善策); 他者が授業参観している時間を作るのが難しい。
- ・自己点検は自分のものさしで計るので客観的になりにくい。
- ・ビデオ録画を試しても詳細に見直す時間を作れない。
- ・小テストやアンケート作成の留意点(授業改善のための資料作り)
- ・基礎学習の教育段階で電子書籍を用いた授業形式へと進めて本当に良いのか。
- ・電子書籍はあくまで確認用であり、学習用には適さないと思うのだが、いかがなものか。
- ・一部学生の基礎学力低下
- ・心理的に困難を抱えた学生に対する指導法
- ・保護者と学生が不仲である場合の担任としての対応について
- ・既卒者への募集活動について(効果的な施策)
- ・心が弱い学生が多くなっている。ハッキリした理由もなく欠席がちになったり、対応に困るケースが多くなったりしている。
効果的な対応はあるのか。